



まちづくりニュースレター

平成22年度 まちづくり初動期活動サポート助成『事例紹介』

当センターでは、大阪府域において地域住民が主体となった「まちづくりに係る初動期の活動」を支援するため、当センターの「都市整備推進基金」を活用した助成を行っています。

平成22年度については7月28日に次の団体へ助成が決定しました。

今回はその中から「竹内街道にぎわいづくり協議会」と「駒ヶ谷地区まちづくり協議会」の二つの活動事例を紹介します。

■ はじめの一步助成部門

	助成団体名	活動地域	助成活動の概要
1	高鷲駅前を育む会	羽曳野市 (高鷲地区)	高鷲駅周辺のまちの保全のルール作りを目指した啓発活動等の取り組み
2	けさたんとう会	高槻市 (富田地区)	富田地区における歴史資源を活かしたまちづくり活動
3	藤井寺駅周辺地区活性化懇談会	藤井寺市 (藤井寺駅周辺地区)	地域住民の意識高揚ならびにまちづくり協議会の設立を目指した勉強会等の取り組み

■ 初動期活動助成部門

	助成団体名	活動地域	助成活動の概要
4	南横山ふるさと再生研究会	和泉市 (大野町、父鬼町地区)	自然環境の保全や安全・安心のまちづくりを目指したまちづくり基本構想の策定
5	南吹田駅まちづくり推進市民協議会	吹田市 ((仮称) 南吹田駅周辺地区)	JRの新駅整備によるまちの変化に対応するためのまちづくりルールの策定等に向けた実行プランの作成
6	久左衛門町まちづくり協議会	大阪市 (中央区久左衛門町地区)	まちが安心安全で活性化することを目指したまちづくりマップの作成や勉強会
7	原地区里づくり研究会	高槻市 (原地区)	景観保全のための先進事例の視察や土地利用ルールを記した看板の設置等
8	貝塚寺内町と紀州街道のまちづくり協議会	貝塚市 (旧貝塚地区)	歴史的遺産の保存・活用を図りながら活力あるまちづくりを進めるための計画素案づくり
9	千里新田地区まちづくり協議会	吹田市 (千里新田地区)	安全・安心で快適なまちづくりの実現のための「くらしの作法集」作成活動
10	竹内街道にぎわいづくり協議会	南河内郡太子町 (竹内街道沿道地区)	景観規制のルール等景観形成に係る仕組みづくりの取り組み
11	高宮地区まちづくり協議会	寝屋川市 (高宮地区)	計画的なまちづくりを誘導するための勉強会や土地利用に関するアンケート調査活動
12	駒ヶ谷地区まちづくり協議会	羽曳野市 (駒ヶ谷地区)	耕作放棄地等の土地利用の方法などを考えたまちづくり基本構想策定のための準備活動

竹内街道にぎわいづくり協議会

- 活動団体名：竹内街道にぎわいづくり協議会
- 活動名称：竹内街道沿道のにぎわいづくりと景観形成の仕組みづくりの取り組み
- 活動地域：南河内郡太子町（竹内街道沿道地区）
- 活動紹介：竹内街道は日本最古の官道で、沿道には歴史資源が数多く点在しています。しかし、近年の高齢化や生活スタイルの変化に伴い、空き家の増加や新築家屋による景観阻害、コミュニティ活力の低下などが地域の課題となっています。



老朽家屋や空き家の将来対策が課題



寺院や伊勢灯笼等も地域の魅力を高める貴重な資源

そこで地元住民は、環境づくりや修景づくりを積極的に進めるなどして「にぎわい」と「もてなし」のある活力あるまちづくりを目指して協議会を設立しました。

これまでも先進市の見学や隣接する大阪芸術大学との協同によるセミナーを実施してきた協議会。今年度はアドバイザーを招いた勉強会を開催し、土地利用の方向性、景観計画・地区計画の制度などを学ぶ予定をされています。

最終的には景観規制のルール等景観形成に係る仕組みづくりや空き家の利活用に関する検討を進め、魅力ある地域づくりを目指しておられます。

当協議会は今年度からサポート助成を活用し、今回のサポート助成金は“景観づくりのための調査研究に要する費用”や“まちなみ形成に関する講演会の講師謝礼”などに充てられる予定です。



景観形成への意識を高め、地域への誇りを回復させる契機として、10月16日（土）に“灯路祭り”を開催します。

灯ろうによる街道ライトアップ、軒下ギャラリーや古民家でのコンサート等地域住民手作りの催しがたくさん！

10月16日（土）は竹内街道“灯路祭り”へ是非お越し下さい。

駒ヶ谷地区まちづくり協議会

- 活動団体名：駒ヶ谷地区まちづくり協議会
- 活動名称：まちづくり基本構想策定準備活動
- 活動地域：羽曳野市（駒ヶ谷地区）
- 活動紹介：駒ヶ谷地区は市街化調整区域で農地が大半を占めている地域であります。南阪奈道路の開通等により、従来とは違った土地利用が求められています。

また、農地の後継者不足等により、耕作放棄地となった土地において地域として好ましくない土地利用が見られるようになり、産業の住み分け、地域の魅力を高めるまちづくりが求められてきました。



そこで、地元住民は、まちづくりについての「懇談会」や講師を招いての「勉強会」などを開催し、これらの問題や課題に対してどのような対応策があるか検討を始められました。

今年度は、現状把握や課題整理のためのワークショップ、まちづくりニュースの発行、まちづくり意向調査の実施、先進事例地視察などを活動の目標とされています。

これまで「問題・課題の共有」や「地域への広報、啓発」など多くの苦勞を重ねられてこられました。

今後はそれらを乗り越えて、まちづくりの指針となる「まちづくり基本構想の策定」を目標に駒ヶ谷地区にふさわしいまちづくりを推進するために活動を続けられます。

当協議会は、平成20、21年度は「はじめの一步助成部門」を活用され、今年度は「初動期活動助成部門」を活用して活動されます。

「まちづくり初動期活動サポート助成」の原資について

- まちづくりについて考え始めた専門的知識を持たない多くの地域住民は、初動期において具体化方策の策定など事業運営面で多くの困難に直面されています。
- 当サポート助成は地域住民の発意及び主体による初動期のまちづくり活動を行う団体に対して、まちづくりの意識啓発などの活動に要する費用の一部を助成するものです。



- このサポート助成の原資は「都市整備推進基金」です。
- 当基金は当財団が土地区画整理組合等の解散・清算の際に、大阪府域における今後の都市整備事業の推進への支援を目的として寄付を受け、設立されたものです。
- ひとつのまちづくりを実施した地域の人々から引き継いだ意思と寄付財産を、次の新しいまちづくりへと繋げてゆくため、当財団では、基金を活用したサポート助成等を通じて、安全で快適なまちづくりの実現に寄与して参りたいと考えています。

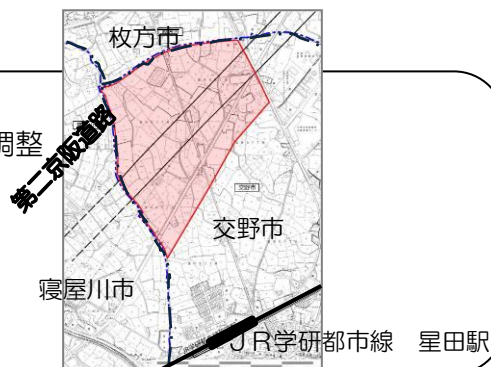


平成22年度も事業化検討支援を行います！

当センターでは、大阪府内の地域住民の発意及び主体によるまちづくりを支援するため、市町村から要請のあった地区について、現場把握・課題整理を行ったうえで、まちづくり基本構想を作成し、まちづくり事業手法等のサポートをする「事業化検討支援」を行っています。今年度は3地区の事業化検討支援を行います。

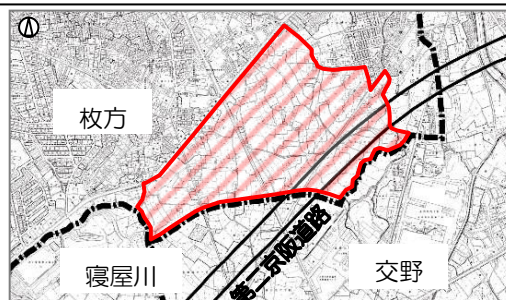
交野市星田北地区

- (1) 地区の現況や課題の再確認及び計画条件の整理・調整
- (2) 事業化検討パートナーの募集と選定
- (3) 基本計画の検討
- (4) 事業手法・事業計画の検討



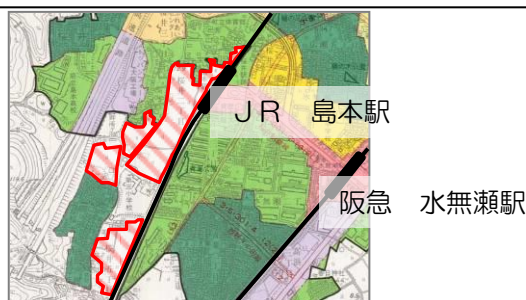
枚方市茄子作・高田地区

- (1) 市街地環境評価
- (2) 権利関係調査
- (3) 地権者の意向把握
(まちづくり協議会運営サポート)
- (4) 調査検討区域内のまちづくり基本計画の策定



JR島本駅西地区

- (1) 地区の現況及び課題の整理
- (2) まちづくり基本構想素案の作成



(財) 大阪府都市整備推進センター まちづくり支援室

〒536-0016

大阪市城東区蒲生2丁目10番28号 大阪府城東庁舎

■ TEL : 06-6930-0260

■ FAX : 06-6930-0261

■ URL : <http://machi.toshiseibi.org/>

■ E-mail : omsk@toshiseibi.org